

無知の壁: 「自分」について脳と仏教から考える (サンガ新書)

# 無知の壁

「自分」について脳と仏教から考える

養老孟司

Yozo Takeshi

アルボムツレ・スマナサーラ

Alubornulle Sumanasara

〈聞き手〉釈 徹宗

Shaku Teiso



発売日: 2015年12月27日

出版: サンガ

著者: 養老孟司, アルボムツレ・スマナサーラ, 釈 徹宗

ページ: 91

養老孟司氏とアルボムツレ・スマナサーラ長老の対談! 聞き手は釈徹宗氏!

問題が太刀打ちできないほど大きくなってしまふのは、  
私たちの心が「自我の錯覚」という病にかかっているから。

では、どうすればいい?

解剖学者と初期仏教長老が実践する  
「自分」をはずして、楽に生きるための智慧!

「本当の自分」なんてない!

『バカの壁』と『無知の壁』の共通点を見つけ出し

『「自分」の壁』を越えてゆく!!

著書『バカの壁』で「脳は知りたくない情報を遮断する」という事実を大胆に指摘し、新著『「自分」の壁』で「『自分探し』なんてムダなこと」と喝破する解剖学者・養老孟司氏。この「壁」の議論をさらに深めていく、初期仏教・アルボムツレ・スマナサーラ長老との対話。聞き手・釈徹宗氏の卓越した問いで、解剖学者が考える「バカ」と仏教の「無知」の共通点が明らかになり、知者の意見が一致する。「本当の自分」なんてない!

<https://k2s.cc/file/8b380c446efaa/3XFL31YD5.pdf.rar>